

日米文化教育交流会議(カルコン)
カルコン・シンポジウム 2025
出席者

敬称略

基調講演パネリスト

- | | |
|---------|---------------|
| ❖ 松岡 宏泰 | 東宝株式会社代表取締役社長 |
| ❖ 都倉 俊一 | 文化庁長官 |

「情報共有とアクセス」パネリスト

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| ❖ 道傳 愛子 | ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター特別上級研究員 |
| ❖ エミリー・シングレー | エルゼビア 北米図書館関係バイスプレジデント |

「サブナショナル外交」パネリスト

- | | |
|-----------------|--|
| ❖ 小山田 真 | 日米姉妹都市協会(JUSSCA)創設者・会長 |
| ❖ メアリー・アリス・ハダッド | ウェズリアン大学ジョン・E・アンドラス記念政治学教授、
東アジア研究・環境政治学教授 |
| ❖ ロリ・ダガン・ゴールド | スミソニアン国立アジア美術館 運営・渉外担当副館長 |
| ❖ ジェシカ・リビングストン | 米国 JET プログラム・アラムナイ・アソシエーション(USJETAA)
エグゼクティブ・ディレクター |
| ❖ シーラ・A・スミス | 外交問題評議会(CFR)上級研究員(日本担当)、
前カルコン米側委員長 |

❖ ランチタイム・プログラム・パネリスト

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ❖ チェイス・ロビンソン | スミソニアン国立アジア美術館館長 |
| ❖ フランク・フェルテンズ | スミソニアン国立アジア美術館、日本美術キュレーター |

米側カルコンパネリスト

委員長:

- | | |
|------------------|--|
| ❖ チャールズ・D・レイク II | アフラック生命保険会社代表取締役社長、
アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド取締役社長 |
|------------------|--|

副委員長:

- | | |
|------------------|---------------|
| ❖ ウィリアム・(ビル)・ツツイ | オタワ大学総長、歴史学教授 |
|------------------|---------------|

委員:

- | | |
|--------------|---|
| ❖ トレバー・ダウズ | デラウェア大学図書館・博物館担当副学長、メイモリス大学図書館司書 |
| ❖ サミュエル・モース | アマーフト大学ハワード・アンド・マーサ・ミッチェル記念教授
(美術史及びアジア言語・文明) |
| ❖ ダイアナ・ニュートン | サザンメソジスト大学(SMU)タワー奨学生プログラムディレクター
ジョングッドウィンタワー政治研究センターシニアフェロー |

- ❖ シンシア・テニエンテ-マトソン サンノゼ州立大学学長
- ❖ ジョリヨン・バラカ・トーマス ペンシルバニア大学宗教学准教授

日本側カルコンパネリスト:

委員長:

- ❖ 佐々江 賢一郎 日本国際問題研究所理事長

副委員長:

- ❖ 久保 文明 防衛大学校長

委員:

- ❖ 秋田 浩之 日本経済新聞社コメンテーター
- ❖ 島谷 弘幸 皇居三の丸尚蔵館館長、国立文化財機構理事長
- ❖ 杉浦 康之 東洋文庫専務理事
- ❖ 高橋 裕子 津田塾大学学長

政府委員:

- ❖ 岡野 結城子 外務省 大臣官房国際文化交流審議官
- ❖ 渡辺 その子 文部科学省 国際統括官
- ❖ 三宅 史人 在アメリカ合衆国日本国大使館公使(広報文化担当)
(有馬裕外務省北米局長代理)

日本側政府関係者:

- ❖ 安藤 博 駐アメリカ合衆国ワシントン大使館 参事官
- ❖ 宮武 美穂 外務省 大臣官房文化交流・海外広報課補佐

オブザーバー:

- ❖ 小島 寛之 国際交流基金 ニューヨーク事務所長

米側事務局:

- ❖ ペイジ・コッティンガム- ストリーター 米側カルコン事務局長、日米友好基金専務理事
- ❖ ケイトリン・アドキンス 米側カルコン事務局長補佐、日米友好基金
- ❖ ニハリカ・ジョー 日米友好基金 副事務局長

日本側事務局:

- ❖ 杉田 明子 日本側カルコン事務局長
- ❖ 宗像 奈名子 日本側カルコン事務局長補佐
- ❖ 金子 千尋 日本側カルコン事務局